令和８年度　第２回　水窪小・中学校運営合同協議会　会議録（要点記録）

１　開催日時　　令和８年７月２７日（月）１３時３０分から１４時３５分まで
２　開催場所　　水窪中学校　ランチルーム
３　出席委員　　柳田　温、髙木　圀乃、西岡　小百合、高木　幸代、平澤　文江、鈴木　清孝
　　梅澤　美百合
４　欠席委員　　石本　駿輔、山内　啓一、守屋　貞慶、片倉　なつみ、片桐　正臣、三石　卓
５　学　　校　　鈴木　滋雄（水窪小校長）、鈴木　成幸（水窪小教頭）、宮下　友樹（水窪中教頭）
　　小栗　志介、渡辺　一平、根本　崚汰、渡邉　莉桜、大倉　千賀子（水窪小）
　　山田　悠理、杉山　史弥、松下　瑞季、仲井　良成、髙山　瑞穂、鈴木　直人
　　弓場　将史、落合　優恵（水窪中）内山　由紀（CS ディレクター）
６　教育委員会　磯部　志保（学校・地域連携課）
７　傍　聴　者　なし
８　会議録作成者　ＣＳディレクター　内山　由紀
９　議長の選出
　司会から、柳田委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
10　協議事項
　・小中一貫校へ向けて
11　会議記録
　司会の平澤委員から、委員総数１３人のうち７人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。
（１）前回会議録の確認について
　水窪小教頭より、別紙資料の前回会議録の内容について説明があり、確認した。
（２）グループ協議「小中一貫校へ向けて　魅力的な学校にするために何が必要か、何ができるか」
【第１グループ：柳田会長、幸代委員、根元、渡邉、山田、髙山】　発表者　根元
・小学校では、畑を使って野菜を育てている。小学生だと難しい畝づくりなどを中学生にやってもらい、その後小学生が種植え等教え合いながらやっていったらどうか。
・中学生は地域に入ってイベントのお手伝いをしているが、小学校高学年も入ってやっていけるのではないか。
・多くの地域の方々に行事に入ってきてもらう。
・学校として、フェスティバルやイベントを開いて、地域の方に参加してもらったらどうか。
・道徳科の授業の中で、中学生の子から小学生に、今までこんなことをして乗り越えた、給食で苦手なものを克服した等伝えることができると上級生を育てることにつながるのではないか。
・朝の時間を使って外を走る等、小中一緒に時間を使って活動したらどうか。

【第２グループ：西岡委員、平澤委員、梅澤委員、渡辺、仲井、弓場、落合】　発表者　弓場
・小学校の畑の活動に中学生も混ぜてもらう。９年間の中で、小学校でやっていることにもう一段階ステップアップしたものを中学の段階でできるとよいのではいか。

・地域で行っている文化祭に小中学校が参加する。
・視野を広げるというところで、スポーツや音楽関係等、外部から支援してもらう。将来につながる職業の選択肢を小学校のうちから教えてあげると自分の将来の道も広がる。
・プールの授業では、地域のボランティアの方に監視員として来ていただくと、普段の授業の様子もわかり、生徒と地域の人の交流の時間も少しはとれるのではないか。

【第３グループ：圀乃委員、鈴木委員、小栗、大倉、杉山、松下、鈴木】　発表者　杉山
・魅力的な行事やイベントが多いので、中学生の力をボランティアに活用していくことはできないか。活動の一例としては、10 月に行われる峠の綱引きで、長野県側の中学生との交流や対戦、ボランティアとしての参加も考えられる。
・中学生が水窪の魅力を言えるようにすれば、外で働くことになっても、水窪にとっていいことなのではないか。
・中学では、先日授業で着物の着付け体験をやっていただいた。授業として地元の方々に来ていただいている。合併に向けてやっていくことは、合併のすぐ後までは文化として残るかもしれないが、教員の異動もあるので、そこで終わるともったいない。CS の方々に託し、学びの場を残していけたらよい。

報告・連絡事項
・水窪小教頭より、いじめ防止基本方針について、説明があった。
・水窪中教頭より、部活動の大会の結果報告があった。その後、前回の協議会で話があった 9 月以降の土日の過ごし方の方向性について、報告があった。
・平澤委員より、次回は、１０月２２日（木）１４時２０分から１５時２０分まで水窪小学校会議室で開催される旨の報告があった。